

百人一首 上の句と下の句を線で結びましょう ⑥

思ひわび  
さても命は  
あるものを

世の中よ  
道こそなけれ  
思ひ入る

やすらはで  
寝なましものを  
さ夜更けて

大江山  
いく野の道の  
遠ければ

長らへば  
またこのごろや  
しのばむれ

夜もすがら  
物思ふころは  
明けやらで

傾くまでの  
月を見しかな

まだふみも見ず  
天の橋立

山の奥にも  
鹿ぞ鳴くなる

憂きに堪へぬは  
涙なりけり

閨のひまさへ  
つれなかりけり

憂しと見し世ぞ  
今は恋しき